

事業名	平成 26 年度能登キャンパス学生教育・活動支援事業「学生教育支援」 「穴水町における少子化に対応した学生協働型フィールド実習」	
実施主体	金沢星稜大学 福井逸子准教授	
活動形態	開催場所	穴水町
	活動人数	14 名
	期間	平成 26 年 6 月 10 日～平成 27 年 3 月 31 日
活動概要	<p><活動の趣旨></p> <p>能登地域では、「超少子高齢化」現象が急速に進んでいるが、穴水町でも、全住民に対する子どもの占める割合は、減少の一途を辿っており、深刻な問題となっている。未来を支える子ども達が、自分の生まれ育った町に住みつき、そこで、将来を担う人材になって欲しいと願うのは、大人側の共通した思いではあるが、そのためには、故郷への思慕、愛着心や自らの力で町を守ろうとする行動力、責任感など幼いころから育まなければならないものは多いと考える。</p> <p>穴水町の教育委員会では、学校や保育現場における故郷教育の推進という課題を掲げているが、本活動においては、この点にも注目して、特に小学校以前の乳幼児期にどのような「故郷教育」を行っていくのかを、現場の保育者と共に考え、実践に繋げていきたいと願っている。特に、学生が提案する故郷教育に通じるアイデア（方法論）を日常の保育に取り入れ展開していくことを目標として進めていきたい。その為には、現地の保育現場を中核として、そこに繋がる保護者や地域の人たちと積極的な交流や学び合いを行いながら、穴水町の未来を担う子ども達への故郷教育推進の一助となり得る介入を提案したい。</p> <p><活動内容></p> <p>①子育て中の母親についての質問紙調査の実施 調査地：穴水第一平和保育所・子育て支援広場</p> <p>②保育現場の先生方と作業（マインドマップ）</p> <p>③食育への推進 テーマ「故郷の味を伝えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧兜小学校に常設する「かあさんの学校食堂」のスタッフの方々、穴水第二平和保育所の保育士の先生方との会議を重ねる。 ・かあさんの学校食堂と保育所の子ども達が参画できる「食育プログラム」の提案 ・食のイベント（実りの秋） 	

事業名	平成 26 年度能登キャンパス学生教育・活動支援事業「学生教育支援」 「穴水町における少子化に対応した学生協働型フィールド実習」	
実施主体	金沢大学 宇野文夫特任教授	
活動 形 態	開催場所	中能登町、輪島市、穴水町、能登町、珠洲市、七尾市、志賀町、宝達志水町、羽咋市
	活動人数	14 名
	期間	平成 26 年 6 月 10 日～平成 27 年 3 月 31 日
活動概要	<p><活動の趣旨と概要></p> <p>金沢大学共通教育科目、ならびに大学コンソーシアム石川「いしかわシティカレッジ」の集中講義「いしかわ新情報書府学 in 能登」(1 単位)を「能登の里山里海」をテーマに 9 月 13 日から 15 日 (2 泊 3 日) のスケジュールで行った。参加者は学生 (10 人) や T A (ティーチング・アシスタント)、調査員 14 名が参加した。今回、縄文真脇遺跡 (能登町)、総持寺と輪島塗 (輪島市)、ブドウ畑とワイナリー (穴水町)、キリコ祭り (珠洲市) など 13 のフィールド・ポイントでは見学に加え、その場で直接話を聞き、「場の学び」を深めた。学生たちはフィールドでの感性、場の考察をレポートとしてまとめた。</p> <p><活動内容></p> <p>9 月 13 日 (土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨宮古墳と石動山に見る能登の古層の見学と解説 (安井重幸氏・中能登町教委) ・総持寺と輪島塗の関係史、輪島塗の制作現場の見学と解説 (大向稔氏、塩安眞一氏) ・夕日と塩田、旅情と文学 (藤平朝雄氏) ・里の祈りと能登人 (松原洋氏) <p>9 月 14 日 (日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼで見る里山と生物多様性 (萩野由紀氏) ・リアス式会館と拉致の事件現場を見学 ・縄文真脇遺跡に見る能登人と海の文化史 (館長) ・アカテガニに見る里海の生物多様性 (坂井恵一氏) ・珠洲のキリコ祭りを見学 <p>9 月 15 日 (月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ殻が育むワイン畑を見学 ・イルカとジンベイザメをテーマにのとじま水族館の見学 ・能登のスローフード、地産地消の取り組み (室谷加代子氏) ・羽咋の神子原の里山マーケットを見学 	